

くろしお協力隊に聞く



【今月の担当者】
地域おこし協力隊
(地域づくり活動推進員)
にしち みちひろ
西地 道弘

Q 着任から約10カ月。現在はどんな仕事をしていますか？

A 地域福祉計画策定の支援をしていましたが、令和5年3月に計画が完成し、現在は社会福祉協議会の職員さんや、役場の保健師さんが行っている個人のお宅への訪問などに同行したりしています。また、社会福祉協議会のなかで障がいを持った方が集える場を作るために行っている、「地域活動支援センター」での活動にも携わっています。

Q 最近、プライベートではどんなことをしていますか？

A 農業に興味があったので、ちょっとやってみようと思って、1.5反ほどの面積のラッキョウ畑を借りました。ラッキョウは黒潮町の特産品ですし、せっかくなら育ててみよう。草刈りや畑の整備などを行って、9月中旬から種を植えています。今はいろいろな方に助けてもらいながら作業をしているところです。協力隊の任期終了後、何をするかということがまだ決まっておらず、何かできることはないかなと考え、まずは考えるより動いた方が良いと思い、畑を始めてみました。任期終了後のことも早めに決めていけたらいいなと思います。

Q 任期終了までにどんな仕事がしたいと考えていますか？

A 私は町の福祉全般という大きな枠組みのなかでミッションをいただいている、さまざまな気づきも得られるようになってきました。その気づきのなかで、いろいろな方と協力しながら、住民と接する方々の負担が減るように、自分のできる範囲でサポートができればいいなと思っています。



ラッキョウを植える西地さん

協力隊から一言！

10月7日(土)、社会福祉協議会で「くろしおボランティアフェスティバル」が開催されます。ぜひ来てください。

Kramer's Corner クレマのコーナー



今月のテーマ ニューゼalandに行ってきました

8月に黒潮町の中学生海外派遣事業で大方と佐賀中学校の生徒と一緒にニュージーランドに行ってきました。大都会から牧場まで観光したり、地元の料理を味わったり、学校の授業に参加したりし、ニュージーランド文化を精一杯体験しました。僕には数年ぶりの外国、初めてのニュージーランドで、驚いたことがたくさんあったので、今回は僕のニュージーランドについてびっくりしたことを語りたいと思います。1つは、ニュージーランドは緑。南半球にあるニュージーランドの8月は真冬なのに、都会のオークランドを出た瞬間、美しいなだらかな緑の丘が四方八方に広がりました。ニュージーランドでは人より羊が多いという豆知識を聞いたことがあったが、街を離れると本当に牧場ばかりです。移動する時バスの窓から見たのは羊や牛がのんびりと草を食んでいる緑の牧草地と丘だけでした。それに、観光の一部として森の散策もし、木々が濃い緑の葉でいっぱいでした。これが真冬のニュージーランドなら、いつ行ってもきれいな国でしょう。

もう1つびっくりしたのは、ニュージーランドの食べ物が大きい。アメリカは食べ物の量が多いというイメージがあるが、ニュージーランドに勝てないと思います。さすが牧場の多い国だけあって、肉も乳製品も非常に美味しく、ラム肉、ステーキ、アイスクリームがおすすめですけど、大量を食べる覚悟が必要です。

最後に、ニュージーランドでは先住民マオリの文化の影響が非常に強いです。看板が英語とマオリ語で書いてあり、学校の朝の放送がマオリの歌で始まり、マオリの伝統的なツアーをしている人が多く、どこを見てもマオリの文化があります。僕たちを歓迎するため、向こうの学校の生徒がハカというマオリの伝統的な踊りもしてくれました。

全体として、本当に面白くて素敵な国です。来年の旅も楽しみにしています！



バスから撮った牧場の様子



量が多いステーキランチ

今月の使える！英語

Kia ora! こんにちは!

ニュージーランドでよく使われているマオリの文化は大切にされており、ニュージーランド英語にはマオリ語の言葉がよく使われています。

